地域おこし協力隊の活動

市では平成27年度から、地域課題の解決を目的として、積極的に「地域おこし協力隊制度」を活用しています。「地域おこし協力隊」とは、人口減少や少子高齢化などが進む本市に、目的を持って都市部から人材を受け入れ、定住、定着と地域力の維持、強化を図る事業。今年度からは、これまでの「会計年度任用型」に、勤務時間などの自由度が高い「個人委託型」や隊員期間終了後にも事業を継続しやすい「企業等連携型」を加え、隊員の受け入れ体制をより柔軟に整えて、計７人が活動しています。

問い合わせ　地域振興課　☎㉓0053

堀内虹弥（ほりうちこうや）さん　／会計年度任用型

荒廃茶園を転作し、茶農家と共に産地化に取り組んでいる、市発の農産物ブランド「波乗りレモン」を、より多くの皆さまへPRできるよう活動しています。県内外でのイベント出店やSNSをとおして「波乗りレモン」の名が全国へ知れ渡るようPRを行い、一農家として若い世代に農業の魅力を伝えられるよう、地域に根付いて活動していきます。

ジョン・オオモリ・カーク さん　／個人委託型

日系３世の私は、牧之原市が大好きで、昨年３月、この「まち」に移住しました。サーフィンをメインに五輪金メダリストやUSAスポーツ団体とのスポーツ・文化交流を行っています。米国五輪委員会や証券会社勤務の経験を生かし、富士山静岡空港の新たな活用や静岡牧之原茶の輸出などにも力を注ぎ、牧之原市と米国の架け橋になれるよう頑張ります。

小松舞（こまつまい）さん　／企業等連携型

「多文化共生」をテーマに活動しています。食やスポーツを通じて、外国籍住民と地域住民が自然に関われる場づくりに取り組んでいます。

「だれでも未来食堂」や、「国際交流フレスコボール体験会」では、世代や国籍を越えた交流が生まれています。また、農泊や地域体験の企画を通じて、牧之原市の魅力を国内外へ発信していきます。

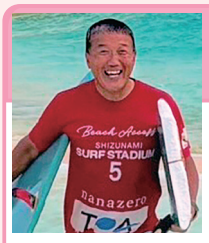
山本綾香（やまもとあやか）さん　／企業等連携型

「外国につながる生徒」の学習・生活支援や教材開発を行っています。また、外国籍住民アンケートの実施・分析と交流イベントを企画し、多文化共生を推進しています。

市内にいる外国ルーツの人の声を丁寧に形にし、学びと居場所をつなげて、共に暮らす力が育つ地域をつくりたいと考えます。

町田紗希子（まちださきこ）さん　／企業等連携型

「プリンセスサリー（インド米と日本米をかけ合わせた品種）」の栽培・出荷調整・販売業務や、農地や農作物を活用した地域交流活動の企画・実行をしています。耕作放棄地を活用することで農村景観を守る手伝いをしながら、作物を魅力ある商品として認知いただけるよう邁進（まいしん）していきます。牧之原市の可能性を皆さんと一緒に引き出していきたいです。



八田吉蔵（はったよしぞう）さん　／企業等連携型

静波サーフスタジアムの観光資源を全国および全世界に発信するとともに具体的な集客に結び付く企画・調整・営業を行っています。

当施設を気持ちよく利用された国内外のお客様がサーフィンだけで帰るのではなく、牧之原市の味わいや楽しみをたくさん発掘していただけるような工夫をしていきます。

ビアルコフスキー順子（じゅんこ）さん／企業等連携型

地域のイベントの企画、運営、観光マップの制作、地域の情報発信（SNS、広報誌、観光施設との連携）を行っています。昨年移住してきたばかりですが愛犬との毎日の散歩を通して、市内には犬と一緒に楽しめる風景や場所がたくさんあると感じています。そうした気づきを大切にしながら、犬連れの方にも優しい観光の形を、地域の皆さんと一緒につくっていきたいです。